

「安倍政治」の 転換を!

コロナ危機対応に失敗し、内政・外交ともにゆきづまって政権を投げ出した安倍前首相。ところが自民党には、安倍政治の継承の他に選択肢がありません。

コロナ禍を経験し、新しい社会がもためられているとき、古い政治の継承などありえません。日本共産党は、市民と野党の共闘で新しい政治をめざします。



折
り
目

ケアに手厚い社会へ
医療、介護、保育…命まもる労働を大切に

人間らしく働けるルールを
8時間働けば普通にらせる社会に

一人ひとりの学びを保障
子どもたちに少人数学級のプレゼントを

消費税の減税を
格差をただし、家計応援の経済政策に

民主主義・立憲主義の回復
国政私物化疑惑、モリ・カケ・桜、の真相解明

憲法を守り、生かす
9条をそのまま次の世代に手渡す

ジェンダー平等を
コロナ危機の対応にこの視点つらぬいて

制度
解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
と書きます
衆議院比例代表
は政党名で投票
します。参議院と
違い個人名は無
効です。



ゆきづまった 安倍政治を継承

菅
新
首
相
冷酷な政治に?

自民党総裁に選出された菅義偉氏が16日、新首相に指名されました。菅氏は「安倍総理が進めてきた取り組みを継承し進めていかなければならない」と述べるとともに、「自助、共助、公助」「まずは自分でできることは自分で」と自己責任を強調しました。行き詰まった安倍政治の継承を前面に掲げる菅政権に、国民の願いは託せません。

「驚くほど中身なし」

志位委員 将会見

共産党の志位和夫委員長は14日、菅氏が自民党総裁に選出されたことを受け記者会見。「どの問題でも『安倍政治』の行き詰まりは明らか。行き詰まった道を突き進むことに未来はない」と述べ、「この国をどうするのかについて、菅氏なりのビジョンを何一つ示せない、驚くほど訴えに中身がない」と指摘しました。

総選挙 政権交代へ全力

菅氏が「自己責任」を強調したことについて「国民に『自助』を求めるだけなら政治は何のためにあるのか」と批判。「自己責任」押し付けの冷酷な新自由主義の暴走が、菅体制のもとで一層ひどくなることへの警戒を表明し、「総選挙で菅体制を倒し、政権交代実現へ全力をあげる」と述べました。

日本共産党

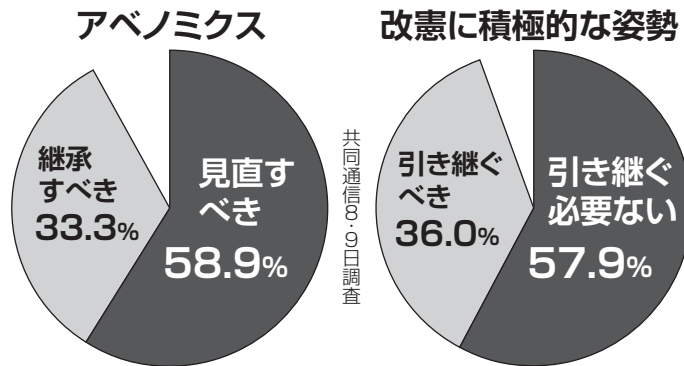
近畿民報

2020年9月 No.3(第429号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。

国民の願いは転換



安倍継承でなく

菅氏は安倍首相の辞任表明後、ひたすら安倍政治の「継承」を訴え続けています。しかし世論調査では「アベノミクス」は見直し、安倍首相の改憲への積極姿勢は「引き継ぐ必要はない」が多数。国民の願いは安倍政治の「継承」でなく転換です。

日本共産党

「新自由主義でなく連帯」

希望ある政治を

「自己責任押し付けの新自由主義か、支え合いと連帯か」。来る総選挙の大争点です。共産・志位委員長と立憲民主・枝野幸男代表は「新自由主義からの転換が共闘の旗印」となることで一致。志位氏は「この旗印を高く掲げ、自公政権に代わる希望ある展望を力強く示そう」と呼びかけています。

菅氏 新たな暴走の危険

発信力なく 軽い言葉



総裁選「圧勝」の菅氏ですが、「発信 独自色薄く」（「毎日」15日）など発信力のなさが指摘され、「自衛隊が憲法で否定されている」との発言を翌日に訂正するなど、国政の根幹での発言のぶれも目立ちます。

将来、消費税引き上げ



消費税引き上げについても「将来は否定しない」と増税を示唆しました。安倍政権下での2回にわたる消費税増税が国民の暮らしと日本経済をどん底に落ち込ませたことへの痛みを全く感じないのでしょうか。

コロナ禍で政治の責任放棄



菅氏のめざす社会像は「自助・共助・公助、そして絆」。自己責任を強調していますが、新型コロナ禍で失業・倒産が広がる中で自己責任を説く菅氏に「政治の責任を放棄するのか」との声が上がっています。

憲法破壊、民意無視



安倍氏が固執してきた改憲も、「取り組む」と断言。憲法9条に自衛隊を明記する改憲の主張は安倍氏と同じ。沖縄・辺野古の米軍基地建設も「進めていく」と表明。菅首相で民意無視の政治が加速する恐れ。

疑惑かくし 強権さらに

安倍強権政治を一心同体で支えてきたのが菅氏。公文書の改ざん・隠ぺい、「森友・加計」「桜を見る会」などの「国政私物化」問題では疑惑隠しに徹してきました。官僚による虚偽答弁や「忖度（そんたく）」政治をもた

らしたのは、菅氏が主導した内閣人事局の設置。官邸が幹部官僚の人事権を掌握しました。菅氏は政権の決めた政策に反対する幹部は「異動してもらう」とまで述べました。菅首相で疑惑かくしと強権ぶりが深刻化する危険が。